

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2016年2月上旬から2月下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年11月上旬から11月下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのでご参照ください。</p>	回答なし	
2016年前半に取り組むべき課題			
2	<p>2016年前半において、記載した3つの課題に関し、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について、具体的な推進方法や手法がありましたらご紹介下さい。</p> <p>また、これら3つには含まれないが、同様に重要だとお考えの課題がございましたら、その推進方法とあわせて具体的に記載下さい。</p>	-	<p>消費税率引き上げで医療機関の経営は悪化する。医療機関に仕入れ税額控除が認められておらず損税が発生している。診療報酬で手当されているが税制として解決すべきだ。その際、増改築、高額医療機器購入など、医療機関の資本投資への規制が必要だ。無計画な資本設備競争は過剰な検査などを誘発している。一億総活躍社会実現に向けた、子育て・家族支援・介護離職の対策は施設建設重視であり、限られた財源でより効果的な政策が求められる。様々な政策がインプット重視だが、アウトプット重視へ転換し、創意工夫が働くように各施設の裁量幅を広げ、アウトカム評価を重視すべきだ。例えば、養成や配置基準などの規制により保育士の過剰需要が発生している。医療においては、特に国民の健康問題の大多数を占めるプライマリ・ケア領域でのデータの蓄積と解析で、費用対効果を含む評価指標を定めて診療の質の標準化を図るべきだ。介護施設でも医療介入の妥当性への客観評価法が確立しておらずコスト高になりがちだ。ケアの分断化は医療介護資源の効率的活用を阻害する。総合診療専門医育成など、統合化に資する人材育成によるマネジメントシステム強化が地域包括ケア推進の要である。</p>